

戦略的な広報の実施について

国土交通省 東北地方整備局 企画部 企画課 正会員(個人) ○日野口 巖

1 はじめに

現在、東日本大震災の復旧・復興をはじめ建設業界が様々な苦労・工夫を重ねながらインフラ整備を進めている。しかしながら、建設工事が閉鎖された環境下で行われることも相まって、一般の方がこれらの取組を日常で知る機会は十分とはいえない状況となっている。

災害現場、工事現場等での多くの苦難を克服してきた技術者の知恵と工夫や社会資本整備による国民生活の向上等、建設関連業界の取組には建設現場等から生まれる様々な情報資産（「物語」）があり、それらを地域の財産として、しっかりと残していく取組を官民連携して実施する必要がある。

このような考えのもと、平成27年より国土交通省東北地方整備局（以下、「東北地整」という）と建設関連業界が一体となって「建設現場等から生まれる情報資産の効果的な社会への還元に関する勉強会」（以下、「戦略的広報勉強会」という）を行い、「建設現場等から生まれる情報資産の効果的な社会への還元に向けて」ということで具体策（アクションプラン）をとりまとめた。

この具体策は、東北地整と建設関係業界が一体となって取組んでいくものであり、その内容と現在の取組状況について報告を行うものである。

2 戦略的広報勉強会について

建設関連業界の取組は、建設現場等から生まれる情報資産であり、これを形成・発信することにより、地域の財産として社会へ還元していくため、東北地整と建設関連業界が一体となって戦略的広報勉強会を立ち上げ、具体的な取組を検討・実施することが設立の趣旨であった。

具体的な取組を検討した際に情報を共有した「問題意識」、「対応の方向」及び「情報資産を効果的に社会へ還元するための具体策（アクションプラン）」を次に示す。

2-1 問題意識

- ・建設業界における広報は、各団体や企業が取組を実施し、一定の効果はあったと思われるが、広報のターゲットが不明確なまま、「自己満足の広報」に陥っていた一面がある。
- ・社会資本整備や災害対応の現場等では、課題克服等を行う上で様々な「物語」がある。それを上手に広報ターゲット層と共有することにより、社会資本整備及び関連職業人への世の中からの理解の向上につなげられる。
- ・社会資本整備は、環境や、地域社会に様々なインパクトを与える。そのようなインパクトを与える原因者として、その地にあった地物や工事途上の物語を後世に残していく責務がある。

2-2 対応の方向

- ・工事や業務の成果品として、一般国民向けに発信する情報資産（広報素材）をきちんと位置付ける。そして、その素材を生かして、社会資本整備の技術や面白さを伝える話その他の「物語」を効果的に発信し、地域の財産としてしっかりと残していく取組を官民連携して行う。
- ・災害時の社会資本整備関係者の活躍を効果的に発信する取組を一層の連携を図りながら行う。
- ・効果的な情報発信、質の高い情報資産の作成を支える技術や優良事例に関する情報の官民での共有を進め、効果の高い手法の普及が進むように取組む。

2-3 情報資産を効果的に社会へ還元するための具体策（アクションプラン）

問題意識を理解し、対応の方向を議論した結果、“情報資産を効果的に社会へ還元するための6つの具体策（アクションプラン）”として決まった内容を次に示す。

- I 成果品の一部として、現在及び将来の国民に役立つ情報資産の作成を位置づける
- II 効率的に価値ある情報資産を生み出すために、官民関係セクターの間で、利用可能な手法についての情報共有と、セクター間の効果的役割分担について検討・実施する
- III 効果的な広報手段の選択について、各広報手法がどのようなターゲット層に有効なものを十分に意識しながら、効果的に行う取組を戦略的に進める
- IV 災害初動対応等、国民の関心が深く、対応者への共感も呼ぶものについて、効果的な情報資産の取得・作成のために必要な備えの充実、連携体制の確立等を進める
- V 社会資本整備事業の有効性、効果がわかる情報資産の取得・発信を戦略的に進める
- VI 既存の広報活動を建設関連業界一体で横断的に取組み、情報発信を行う

3 取組内容と現状について

具体策の項目別に取組む内容は多岐にわたるが、ここでは代表的な取組内容として具体策Iに関する内容の実施・検討項目の実例、平成28年2月から公開している工事情報ホームページについて記載する。このホームページの実際の画面表示を図-1、図-2（<http://genba-story.com/>）に示す。

工事情報ホームページとは、建設現場から生まれる情報資産（「物語」）を記録したホームページを集めて、簡単にアクセスするための玄関口となるウェブサイトを目指し、公開したものである。このサイトで紹介している建設工事現場毎に作成しているホームページは、普段なかなか近づくことのできない災害現場、工事現場等で生まれる様々な技術者の思い、苦勞、知恵や工夫、建設業の醍醐味などを画像や映像にして閲覧できる内容を目指し、工事関係者の協力の下で構築している。

公開にあたり工夫した例のひとつとして、右上の選択で“通常モード”と“シンプルモード”が選択できるように構成している。一般の人を対象として興味を持たせる目的の“通常モード”と、建設業関係者を対象として少ないアクセス（クリック数）で見たい画面や情報に辿り着ける“シンプルモード”に構成を分けることにより、広報のターゲットを意識して企画・構成した取組内容である。



図-1 工事情報ホームページ表示画面（通常モード）



図-2 工事情報ホームページ表示画面（シンプルモード）

おわりに、この取組に限らず、災害現場、工事現場等での多くの苦難を克服してきた技術者の知恵と工夫が広く一般の人々に知れ渡り、建設業界の重要性が理解されることを切に願う。